

《ポリオ撲滅 国際 RC 2780 地区 行動グループ in インド》

平成 29 年(2017)1月 29 日～30 日



ロータリー財団ゾーンコーディネーター竹腰様、国際ロータリー会長代理舟木様と国際ロータリー第2780地区ポリオ行動グループ〈デリー女性保健センターから各ブースへワクチン接種に向かう〉

28日、今回の行動グループは、相澤パストガバナーを団長に、脇ガバナーミニー、田島ガバナー補佐、笠原地区公共イメージ委員長、小野良太郎地区委員、通訳としてガバナー事務所の元奨学生望月女史と私です。行動グループは、4回目のインドへの現状視察と予防接種に向け日本を飛び立ちました。私は、相澤団長がお招きしたロータリー財団ゾーンコーディネーターの竹腰兼壽パストガバナー先輩、国際ロータリー会長代理舟木いさこパストガバナー先輩と、皆様より一日早く帰国する事から幸運にもご一緒の便となりました。成田からご一緒させて頂いて、ラウンジでも、機内でもバスの中でも、お二人の御話、お考え、ロータリーっていいですね。の連続でした。さて、デリーに着くと、即夕刻7時ホテルで、インド全土を統括するポリオセンター長さんと打ち合わせです。そこで、2日間の濃厚なスケジュールが決定されました。2日間、デリーで、病院、擁護教育施設、ポリオセンターでの現状報告を受け、デリー南西ロータリークラブのクリニック、歯科診療所、保育園、職業訓練校等の視察とポリオ接種を済ませ、一人現地コーディネーター2人に送られ夜8時20分成田に向けてデリーを旅立ちました。気が付いたらメイク落としなしの3日間、成田に着いたら31日朝7時、箱根ロータリー皆様のご声援で、インドの街で子供達、先生方小さな子供のお母さん達に、私達を喜んで迎えてくれた素晴らしい活動についていけました。箱根ロータリーの皆様ありがとうございました。



①



②



③



④

①日本各地から駆けつけたロータリアンと ②貧困な街の子供達、私、子供達に「あとちょっと」のポーズを教えて世界にアピール！撮影成功しました。③相澤パストガバナー、脇ガバナーミニー、デリーロータリー会員、会計学大学1年生ローターアクトと担当ブースが決定して記念写真、④教育保護施設で高校生にワイシャツをプレゼント 笠原地区公共イメージ委員長と同じロータリーマークが付いているので大喜びの生徒達でした



⑤



⑥



⑦



⑧

⑤ポリオ接種が終わっても道端から帰らない子供達、口には不二屋のペコちゃんのぺろぺろ飴です。⑥ロータリーマークに大喜びの生徒N ⑦NHKの取材に応じています ⑧飴が欲しくてブースに5歳以上の子供達



⑨



⑩



⑪



⑫

⑨第1回の視察でお会いた学校の校長先生、おなごりおしくて手を離してくれません。⑩養護学校1年生の教室 ⑪先輩方が子供に挨拶 ⑫500人の養護学校を個人で運営されているマダムです。マダムのデスクで学校への寄付金の記念サインをさせていただきました。光栄です。



⑬



⑭



⑮



⑯

⑬セントステファン病院整形外科医、医大生の時からポリオの治療に専念され、20年前はデリーだけで3000人の罹患者、現在は大人の治療だそうです。⑭マダムに障害のある子の名前を教えてくださいと委員長と呼びかけたら答えてくれました。マダムは、障害者も健常者もうちの学校は一緒に学ぶのよとお話くださいました。共通は、貧困です。マダムの温かいお心と私財ですくすくみんな大きく育ちます。⑮相澤PGが幼子の口をあけ、脇Gノミニーが2滴ワクチンを入れる、ローターアクトのインドの学生さんが小指の爪に終わった事を証明するマジックでマーカー、私が子供に棒の付いた飴をあげる担当者。妻ーくスムーズに担当割、私が一番良いお役です。泣かれないから、⑯インド全土のポリオを統括するポリオセンター長さん、何回もお会いしているせいか親近感です。



⑬



⑭



⑮



⑯

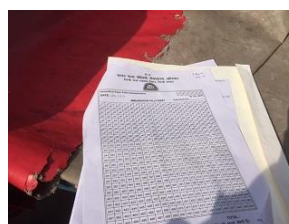


⑰

⑬貧困の街の子供達、外で一生懸命に手伝ってくれます。⑭街の中は動物園みたいです。⑮女性保健センター長、インド全土のデータ管理表を見せて頂きました。初回と違い、管理が行き届いて。⑯通訳で同行した望月さん。インドの英語で専門用語も、素晴らしいお仕事でした。先輩方、皆様大変に御ほめでした。⑰憧れの舟木先輩と職業訓練所の美容教室にて



⑱



⑱こらこら、観光旅行じゃないよと、つい牛さんの写真撮りたくなっちゃうインドです。